

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 大

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社  
 コード番号 9753 URL <http://www.ikic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営情報本部 経理部長

(氏名) 安藤 文男

(氏名) 石井 嘉範

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,535	0.5	△153	—	△126	—	△86	—
24年3月期第1四半期	3,517	1.7	△87	—	△48	—	△33	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △109百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△7.35	—
24年3月期第1四半期	△2.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,153	3,500	42.9
24年3月期	8,687	3,691	42.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,494百万円 24年3月期 3,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,587	0.7	△59	—	△40	—	△33	—	△2.85
通期	16,463	7.4	334	142.3	356	79.4	203	—	17.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	13,034,660 株	24年3月期	13,034,660 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,342,380 株	24年3月期	1,208,380 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	11,786,149 株	24年3月期1Q	11,955,235 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により景気の一部に緩やかな回復基調がみられたものの、長期化するデフレや円高に加え、欧州の債務問題や原油価格の高騰など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

情報サービス業界におきましては、これまで先延ばしの状態を続けてきたシステム更新案件が具体化に向けて動き出すケースも出てきておりますが、市場は未だ厳しい状況にあります。

これに対して当社グループは、ユーザーの高い信頼を獲得するため、システムの受注から納品までのプロセス管理・リスク管理を徹底するとともに、厳しい市場環境に対応した採算重視の受注体制を敷いてまいりました。

こうした中、主な案件として金融系においては、保険会社のシステム開発及び保守・運用が順調であり、製造業では大手エレクトロニクスメーカー系の大容量記憶装置の組込みシステム開発、通信業では携帯電話の料金系システム開発、社会・公共系ではガス関連などが引き続き好調に推移し、売上に寄与しました。

しかし、地方事業所は総じて事業環境が厳しく、非稼働要員が増加しました。さらに、情報・通信系の一部システム開発案件が障害に伴い不採算案件となったことにより、収益面では厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,535百万円（前年同期比0.5%増）とほぼ横ばいで推移いたしました。また、損益面では、営業損失153百万円（前年同期は87百万円の損失）、経常損失126百万円（同48百万円の損失）、四半期純損益につきましては、損失86百万円（同33百万円の損失）を計上いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ534百万円減少し8,153百万円となりました。これは主に資産の部では「受取手形及び売掛金」の減少589百万円、「仕掛品」の増加129百万円であり、負債の部では「未払金」の減少131百万円、「賞与引当金」の減少251百万円を反映したものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ190百万円減少し3,500百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の減少145百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.4%から42.9%となっております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、長期化する不況の影響や消費税増税の動き、さらに欧州債務問題等経営環境の厳しさは続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、長年培ってまいりました業務ノウハウとユーザー企業からの信頼を基礎に、経営トップから現場技術者までの多段的営業活動により新規案件の受注獲得に注力してまいります。

平成25年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案した結果、概ね本年5月15日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ178千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,218,918	3,119,503
受取手形及び売掛金	2,390,421	1,801,371
商品	2,062	3,012
仕掛品	296,465	425,987
繰延税金資産	400,892	455,517
その他	187,186	195,282
貸倒引当金	△414	△414
流動資産合計	6,495,531	6,000,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	164,280	154,343
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	74,788	77,291
土地	119,332	117,607
有形固定資産合計	358,401	349,241
無形固定資産		
ソフトウェア	118,589	111,811
その他	15,689	8,689
無形固定資産合計	134,279	120,500
投資その他の資産		
投資有価証券	607,826	578,997
繰延税金資産	827,185	838,110
その他	265,242	266,682
貸倒引当金	△700	△400
投資その他の資産合計	1,699,555	1,683,390
固定資産合計	2,192,236	2,153,132
資産合計	8,687,767	8,153,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	444,318	380,062
1年内返済予定の長期借入金	320,897	270,772
未払金	578,413	446,728
未払法人税等	18,131	9,749
未払費用	5,298	104,785
賞与引当金	597,925	346,601
受注損失引当金	25,294	32,770
資産除去債務	2,893	2,909
その他	249,837	382,322
流動負債合計	2,243,008	1,976,703
固定負債		
長期借入金	312,668	271,035
退職給付引当金	2,020,786	2,040,283
資産除去債務	59,957	60,292
長期未払金	359,862	304,445
その他	394	458
固定負債合計	2,753,668	2,676,514
負債合計	4,996,677	4,653,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,908,212	1,908,212
利益剰余金	898,262	752,498
自己株式	△320,816	△343,535
株主資本合計	3,666,556	3,498,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,555	△3,751
その他の包括利益累計額合計	18,555	△3,751
少数株主持分	5,978	5,854
純資産合計	3,691,090	3,500,175
負債純資産合計	8,687,767	8,153,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,517,373	3,535,592
売上原価	2,975,459	3,049,375
売上総利益	541,913	486,216
販売費及び一般管理費	629,244	639,403
営業損失(△)	△87,331	△153,186
営業外収益		
受取利息	63	119
受取配当金	8,734	8,835
助成金収入	29,108	11,270
持分法による投資利益	—	5,597
負ののれん償却額	2,066	—
その他	2,220	2,917
営業外収益合計	42,193	28,741
営業外費用		
支払利息	1,471	1,997
支払手数料	1,121	—
持分法による投資損失	866	—
その他	346	284
営業外費用合計	3,806	2,281
経常損失(△)	△48,944	△126,727
特別利益		
固定資産売却益	—	2,870
特別利益合計	—	2,870
特別損失		
固定資産売却損	—	1,197
固定資産廃棄損	409	—
特別退職金	—	12,986
特別損失合計	409	14,183
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,354	△138,040
法人税等	△15,946	△51,283
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△33,407	△86,757
少数株主利益又は少数株主損失(△)	239	△124
四半期純損失(△)	△33,647	△86,632

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△33,407	△86,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,833	△22,306
その他の包括利益合計	△3,833	△22,306
四半期包括利益	△37,241	△109,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,481	△108,939
少数株主に係る四半期包括利益	239	△124

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。